

共に学び、友に学ぶ



1年生 交通安全教室



プールでの水泳学習



レコード・カフェ in 能南小



委員会活動（能登川駅前 フラワープロジェクト）



キラキラステージ！



**8月・9月の主な予定については、
前号（No.4）に記載しています。**

夏季休業中の学校業務停止日の緊急連絡先は、コドモンにてお知らせがありましたように、市教育委員会事務局学校教育課までお願いします。

（電話 0748-24-5671）

雑感 「立場が変われば、感じ方も変わる」

今年もお盆が近づいてきました。私が父を亡くしてから早1年が経とうとしています。もう十数年前に亡くなった母と昨年亡くなった父は、どちらも元気な頃は畑での野菜作りに精を出していました。今は私が夢中になり、ナスやキュウリの育て方を動画で調べては、週末に畑で実践しています。

「おいしく実ったら、家族のみんなにも食べてほしいな」と近い未来を思い描きつつ、雑草の生命力に感心しながら黙々と草取りをしていた時、ふと、自分はなぜこんなに畑に夢中になっているのか、人は何をめざして生きているのかと、哲学的な思いに駆られました。そして、父母が元気だった頃、私が両親の家へ寄るたびに、「野菜がたくさんとれたんや。持って帰って食べへんか」と声をかけてもらっていた場面がよみがえってきました。

その頃の私は、父や母が暑い日に汗を流しながら畑で野菜の世話をしている姿をよく知っていましたから、そんな野菜を、何もしていない私がたくさん食べてしまうのはどうかと考え、「たくさん買ってあるから、いいわ。」と断っていました。今思うと、手ぶらで帰っていく私を見送りながら、きっと父も母も寂しい思いをしていたのだろうな、なんと自分は浅はかだったのらうと感じ、自然と涙が溢れて止まらなくなりました。

日常の中で、相手を気遣おうとする思いから、遠慮して断るようなことも多いことでしょう。しかし、甘えさせてもらうことが、実は相手にとってはとても幸せなことなのかもしれません。逆に、相手の思いに気付かず、「どうして私の気持ちが分からないのか」「あなたはいつも〇〇だ」と、分かり合えないことを嘆くこともあります。でも、少し立場を変えて見ると、今まで思いもしなかったことに気づき、感謝の念や、お陰様の気持ちになれることがあります。

日本では、これまでの長い歴史の中で、こういった持ちつ持たれつの共助の精神が大切にされ、人と人との繋がりが深められてきたのだと感じています。その一方で、時代の流れか、最近は近所の人とも挨拶さえ交わさなくなってきていることに一抹の寂しさを感じているこの頃でもあります。

子どもが何気なくくれるプレゼントやお手紙、自分から声をかけてくれるお手伝いなど、ぜひ「ありがとう」の言葉とともにその気持ちを受け取ってあげてください。できれば後で素敵なメッセージを添えて。また、おじいちゃん、おばあちゃんからの手作りの野菜やお土産のプレゼントなども、遠慮せず、笑顔で「ありがとう」と受け取ってくださいね。

（文責：もうすぐおじいちゃんの吉田）